

報道関係者各位

(本資料は、2017年7月11日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です)

2017年7月12日

ボストンコンサルティンググループ

世界資産運用市場:2016年末の預り資産額は前年比7%増の69.1兆ドル ～BCG調査

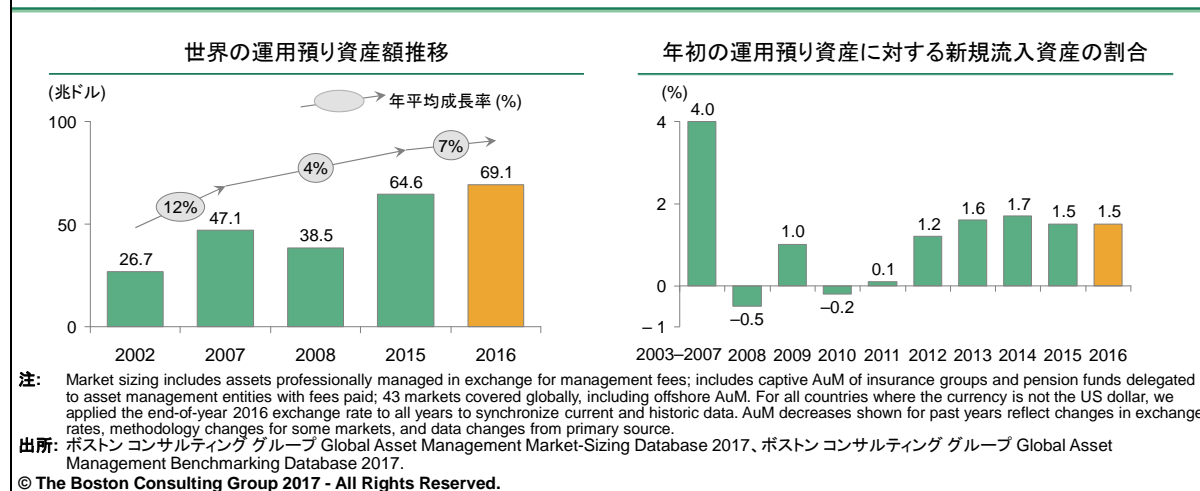
預り資産増加は好調な株式市場の影響が大きく、
新たな資金流入額は年初の預り資産の1.5%にとどまる

ニューヨーク発、2017年7月11日 —— 経営コンサルティングファームのボストンコンサルティンググループ(以下、BCG)は、グローバルアセットマネジメント・レポートの2017年版「Global Asset Management 2017: The Innovator's Advantage」を発表しました。

好調な株式市場に牽引され運用預り資産は増加。新たな資金流入はここ数年と同水準にとどまり、リーマンショック前の水準には戻らず

2016年末の運用預り資産規模は、2015年末比7%の増69.1兆ドルになったと推計されました(図表1)。一方、新たな資金流入額は年初の預り資産の1.5%と、ここ数年の実績と同水準にとどまっており、リーマンショック以前の4~6%という水準には戻っていません。堅調な株式市場により預り資産が増加したと考えられます。

図表1: 世界の運用預り資産額は前年比7%増の69.1兆ドル、堅調な株式市場が牽引



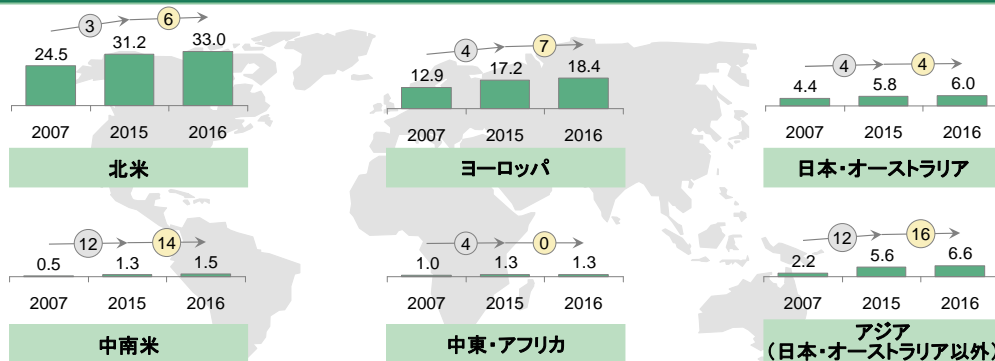
中国の預り資産増加率は突出して高く、前年末比21%増。世界全体の傾向とは異なり、新たな資金流入が大きな要因

預り資産を地域別にみると、日本とオーストラリアを除くアジアで2015年末比16%増、中南米で同14%増、ヨーロッパが同7%増、北米が同6%増、日本とオーストラリアの合計が同4%増、中東・アフリカが増減なしとなりました(図表2)。

国別の預り資産の増加率では、中国が2015年末比21%増と突出しています。世界全体の傾向とは異なり、中国では新たな資金流入が前年末の預り資産の17%に上り、預り資産の増加を牽引しました。日本及び世界最大の市場であるアメリカとの比較では、預り資産は日本が2015年末比3%増、アメリカが同5%増、資金の流出入では日本は2015年末の預り資産の1%が流入し、アメリカは同0.3%が流出したと推計されます。

図表2: 運用預り資産は、中東・アフリカ以外の地域で増加
地域別運用預り資産額 (2007~2016年、兆ドル)

2007-2015年の年平均成長率 (%)
2015-2016年の成長率 (%)



注: Market sizing includes assets professionally managed in exchange for management fees; includes captive AuM of insurance groups or pension funds delegated to asset management entities with fees paid; 43 markets covered globally, including offshore AuM. For all countries where the currency is not the US dollar, we applied the end-of-year 2016 exchange rate to all years to synchronize current and historic data. Some AuM numbers differ from those in prior reports owing to exchange rate differences, revised methodology, and changes in source data.

出所: ボストンコンサルティンググループ Global Asset Management Market-Sizing Database 2017.

© The Boston Consulting Group 2017 - All Rights Reserved.

運用業界全体の収益・利益は、リーマンショック後初めて減少

預り資産は増加したものの、運用業界のおかれた状況は厳しく、2008年のリーマンショック以降で初めて、業界全体の収益・利益が共に減少しました。2016年の業界全体の収益は前年比1%減、利益は同2%減となりました。本レポートでは、厳しい状況を乗り越えるための5つのポイントを挙げ、解説しています。

■調査レポート

「Global Asset Management 2017: The Innovator's Advantage」

<https://www.bcg.com/publications/2017/wealth-management-insurance-global-asset-management-2017-innovators-advantage.aspx>

BCGでは、主要国における市場調査と大手運用会社を対象にしたベンチマーキング調査を基に、資産運用市場と運用会社の動向についてまとめたレポートを毎年発行しています。15回目となる今回は、世界全体の預り資産の62%を占める153の大手運用会社のベンチマーク調査と、43か国におけるグローバル市場調査を実施しました。

■日本における担当者

佐々木 靖



シニア・パートナー&マネージング・ディレクター

BCG 金融グループ及び保険グループの日本リーダー

慶應義塾大学経済学部卒業。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス修士(MSc)。欧州経営大学院(INSEAD)経営学修士(MBA)。株式会社日本興業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)を経て現在に至る。

山井 康浩



パートナー&マネージング・ディレクター

BCG 金融グループ、保険グループのコアメンバー

東京大学教養学部卒業。マサチューセッツ工科大学経営学修士(MBA)。日本銀行、米国系戦略コンサルティングファームを経て現在に至る。

■ボストンコンサルティンググループ(BCG)について

BCGは、世界をリードする経営コンサルティングファームとして、政府・民間企業・非営利団体など、さまざまな業種・マーケットにおいて、カスタムメイドのアプローチ、企業・市場に対する深い洞察、クライアントとの緊密な協働により、クライアントが持続的競争優位を築き、組織能力(ケイパビリティ)を高め、継続的に優れた業績をあげられるよう支援を行っています。



1963年米国ボストンに創設、1966年に世界第2の拠点として東京に、2003年には名古屋に中部・関西オフィスを設立しました。現在世界48ヶ国に85拠点を展開しています。

<https://www.bcg.com/ja-jp/default.aspx>

bcg.perspectives サイトでは、さまざまな業界・分野に関するBCGの知見をまとめたレポート、記事およびインタビュー映像などをご紹介します。<https://www.bcgperspectives.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ

ボストンコンサルティンググループ マーケティング 伊原・嶋津

Tel: 03-5211-0600 / Fax: 03-5211-0333 / Mail: press.relations@bcg.com